

2022年3月9日

SOMPOホールディングス株式会社

SOMPOケア株式会社

リアルデータ起点による介護業界の社会課題解決に向けた協業開始

SOMPOホールディングス株式会社（グループCEO取締役代表執行役社長：櫻田 謙悟、以下「SOMPOホールディングス」）と介護事業を担うSOMPOケア株式会社（代表取締役社長COO：遠藤 健、以下「SOMPOケア」）は、総合警備保障株式会社（代表取締役社長最高執行責任者（COO）：青山 幸恭、以下「ALSOK」）および株式会社ウチヤマホールディングス（代表取締役社長：山本 武博、以下「ウチヤマホールディングス」）の2社とそれぞれ、介護領域のリアルデータ^{※1}を起点とした介護業界の社会課題解決につながるソリューション創出に向けた協業を開始しました。

※1 個人・企業の実世界での活動についてセンサー等により取得されるデータ（健康情報等）

【対義語】パーチャルデータ：Web、SNSなどのネット空間での活動から生じるデータ

1. 背景・目的

現在、我が国においては急激な少子高齢化が進み、「高齢者人口の増加や生産年齢人口の減少」、「介護業界における労働力不足や厳しい労働環境」、「社会保障費の増大や経済成長の停滞」など、多くの社会課題に直面しています。

SOMPOホールディングスは、現中期経営計画において「安心・安全・健康のリアルデータプラットフォーム^{※2}」の構築を重要なテーマと位置づけ、Palantir Technologies Inc.（Co-Founder and CEO：Dr. Alexander Karp、以下「Palantir」）とともに「安心・安全・健康のリアルデータプラットフォーム」の実現に向けた社内プロジェクトを進めてきました。SOMPOグループ内外の多種多様なリアルデータとPalantirのデータ統合・解析プラットフォームを活用し、新規事業領域の拡大を通じた、経済価値と社会価値の最大化による企業価値の向上を目指しています。こうした取組みの第一弾として、日本国内の介護領域における介護サービスの品質向上とオペレーション変革を進めており、SOMPOケア介護施設向けソリューションを約2年間かけて実装し、一定の効果が確認できています。

このたび、このソリューションを更に一步進め、介護業界全体の社会課題解決に資するものに昇華させるため、介護事業を有する2社（ALSOK、ウチヤマホールディングス）との協業に至りました。

※2 介護現場、製造、自動車走行、物流、輸送などSOMPOグループ各社およびパートナー企業のさまざまなオペレーションのなかで得られる膨大なリアルデータを統合・分析し、社会課題を解決する新たなソリューションを提供するビジネスモデル。

2. 協業の概要

SOMP Oホールディングスでは、SOMP Oケアを通じ、介護施設における業務プロセスを最適化し、介護現場の課題解決をサポートするソリューションを開発してきました。例えば、入居者様ごとのケアプランと実態のギャップ把握によるオペレーションの改善や体調変化の傾向把握などにより、従来属人化していた業務オペレーションの体系化や判断の精緻化、迅速な意思決定が可能になり、高品質な介護サービスを維持しつつ業務効率化を実現することも可能になります。介護施設入居者様の生活に密着した各種データ統合による業務の見える化から着手し、業務オペレーションの仕組み化に取り組んでいます。

今回の協業においては、SOMP Oケアで構築した介護施設業務プロセスの最適化の仕組みをベースに、ALSOKグループおよびウチヤマホールディングスグループの介護施設が保有するデータ、インフラ、業務オペレーションに合わせカスタマイズします。2社の介護施設職員の皆さまのフィードバックをスピーディに反映するサイクルを回していくことで、利用価値のあるソリューションに磨きあげていきます。

3. 今後の展望

SOMP Oケアの取組みに、ALSOKグループおよびウチヤマホールディングスグループの介護事業におけるノウハウや知見を掛け合わせ、入居者様のQOLを向上させるとともに、介護現場における様々な課題を解決し、介護業界全体の共通課題に幅広く貢献できるソリューションを創出することで、多くの人々がより豊かな生活を過ごせる社会を実現していきます。

<介護事業者様向けのお問い合わせ先>

介護領域のリアルデータを活用した取組みにご関心のある介護事業者様はこちらをご覧ください。

■URL : <https://www.sompocare.com/rdp>

■QRコード :



以上